



府中小学校だより

伊賀市立府中小学校
2024年 6月18日
NO.5 文責:林 康子

6年生が発案した「1年生ともっと仲良くなる会」

6年生の児童から「1年生に自分たちのことを知ってもらい、もっと仲良くなりたい」との声があがりました。

そこで自分たちで、何をするか話しあい、決定しました。迎えた当日、1年生教室を訪れた6年生は、まず全員が自分の名前と得意なこと・頑張っていることを伝えました。

1年生が飽きてきそうになったら、じゃんけん大会やクイズをして、楽しませていました。最後に6年生が「困ったことがあったら、6年生に言ってください。みんなで助けます。」

「勉強頑張ってください」「また、一緒に遊ぼう」「あいさつをするといいですよ」など、メッセージを伝えて終わりました。1年生からは「クイズがおもしろかったです。」「通学団のお姉さんがきてくれてうれしかったです。」「僕たちも名前

を知ってもらう会をしたいです。」といった感想がきかれました。1年生のことを思って、自分たちで会を企画・運営した6年生の姿は頼もしかったです。



4年生:総合学習「障がいとは」

6月7日(金)4年生は「障がいのある方の思いや願いを知り、ともに生きるということについて考える」ため、視覚障がい者の大橋さんと盲導犬のスピカに來てもらいました。

大橋さんから「目は見えませんが、点字を勉強すると、我が子と一っしょに本を読むことができるようになりました。料理も

がんばってできるようになりました。」「目が不自由でも、不幸ではありません。あきらめずに自分のやりたいことに挑戦するとできるようになりますよ。」といったお話をきかせていただきました。子どもたちは次の様に振り返りました。「私は、目が不自由だと料理なんてできないんじゃないかと決めつけてしまっていました。」「ぼくは、大橋さんみたいになりたいくて、今、発表をがんばっている。」「やったことがないことはできないと決めつけていた。これからはチャレンジしようと思う。」



ほん よ す こ
本を読むことが好きな子どもに……

ふちゅうしょうがっこう どくしょかつどう すいしん かか ほん よ
府中小学校の「読書活動の推進」を掲げています。本を読むとよいことがたくさん
ありますが、特に3つのよいことがあると思います。

1つめは言葉を覚えられること。本は人に何かを伝えるために書かれていますから、読むだけ
で、人に感情や理由や状況などを伝える言葉を覚えることができ、表現力が豊かになります。

2つめは、想像する力がつくこと。登場人物の気持ちや置かれている状況を想像して読むこ
とで想像力が高められ、人の気持ちも考えられるようになります。

3つめは、集中力がつくこと。好きな本や楽しい本、感動する本に出会うと没頭して読み、
自然と集中力が身につきます。

本を読むことが好きな子どもを育成するため、昨年は、図書館司書さんと図書ボランティアさ
んをお迎えして、ドアをつけたり、芭蕉コーナーを設置したり、本のシールをすべて取り替えて、子
どもたちが貸し借りしやすいようにするなど、大改造を行いました。昭和の古い本を廃棄し、新
しい本を購入するとともに、どの学年でも定期的に読書や読み聞かせの時間を確保してきました。

今年、「全校によるビブリオバトル開催」「図書委員による図書館の使い方ビデオ制作」
「府中書店開店」「教師のビブリオバトル」「図書ボランティアさんによるポップ教室」など、取り
組んでまいります。

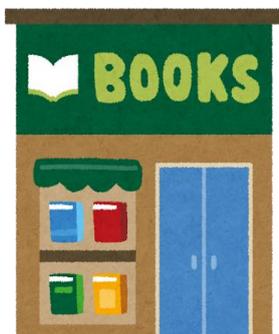
がつ にち きょうしゅくいん たの よ き
6月26日は教職員の「お楽しみ読み聞かせ」

ねんたんどう ひらこ ねんたんどう ふじたに ねんたんどう やまおか
1年担当：平子 2年担当：藤谷 3年担当：山岡

ねんたんどう くみはたじ くみいちかわ ねんたんどう さとだ
4年担当：1組畑地 2組市川 5年担当：里田

ねんたんどう にしかわ
6年担当：西川

にち ふちゅうしょてん かいてん
1日だけの府中書店……開店



れいわ ねんど ひ つづ い が しきょういくいんかい ほん よ どくしょかつどうすいしんじぎょう う
令和6年度も引き続き、伊賀市教育委員会の「本を読む！読書活動推進事業」を受けること
が決められました。図書ボランティアさん、図書館司書さんのこれまでの図書館改造へのご尽力と
伊賀市教育委員会のご支援に心から感謝いたします。

さて、昨年、「子どもたち一人一人が自分が読みたい本を購入し、夏休みに持ち帰る」という
取り組みを実施しました。その際「パソコンで選ぶのではなくて、本をみてから選びたい」「おす
めの本を紹介してほしい」といった声を聞きました。そこで、今年はい日だけですが7月11日
(木)、体育館で「1日だけの府中書店」を開店することとしました。

店長は、子どもたちから「もういちど会いたい」と頼まれていた四日市の「メリーゴーランド
(児童書専門店)」の増田店長さん。増田店長さんのおすすめの本のお話を伺った後、子ども
たちは自分の好きな本を購入します。どんな本を選ぶのか、今からワクワクしています。